

日本技術士会長野県支部 CPD（継続研鑽）講演会・見学会（北信地区）

「史跡大室古墳群（長野市）について学ぶ」

- 1 日時：2022（令和4）年11月13日（日） 講演会（午前）、見学会（午後）
- 2 講演会 「史跡大室古墳群について」 長野市立博物館2階会議室にて
見学会 大室古墳館及び史跡大室古墳群（大室谷支群）
講師（講演・案内・説明）：長野市埋蔵文化財センター 課長補佐 風間 栄一 氏
- 3 参加者：17名
- 4 内容
およそ1500年も前（大きな幅がありますが）のお墓（古墳）が長野県内にも数多く現存しています。今回は、大室古墳群についてご講演をお聴きし、見学しました。
講演では、次のことなどを学んだ。

○史跡とは？

- ・国指定、都道府県指定、市町村指定
- ・長野県内の国指定史跡（古墳）：弘法山古墳、森將軍塚古墳など埴科古墳群、川柳將軍塚古墳・姫塚古墳、飯田古墳群そして大室古墳群
- ・大室古墳群の史跡指定：平成9年7月28日官報告示、特徴は、積石塚古墳群として日本最大規模、合掌形石室という特異な構造の埋葬施設が集中

○古墳時代とはいつのことか？

○大室古墳群の位置、北山支群・大室谷支群・霞城支群・北谷支群・金井山支群

○史跡整備の概要

- ・エントランスゾーンの整備
原形を留めない古墳の整備、破壊された古墳の整備、特異な古墳の整備、埋葬施設を調査した古墳、市民の参加
- ・遺構復元整備ゾーンの整備
墳丘が低い積石塚古墳、墳丘が高い横穴式石室墳

○土器の変化、鉄鏃の変化

○マクロな視点～古墳群全体、ミクロな視点～エントランスゾーン、古墳を造った人たちはどこに住んでいたか？

講演後、大室古墳館、大室古墳群に移動し、お昼の休憩を取った後、大室古墳館及び史跡大室古墳群の整備されたエントランスゾーンの見学を行った。



大室古墳群の模型（大室古墳館）



240号墳（破壊された古墳を整備）



244号墳（特異な古墳の整備）
横穴式石室内部